

市政を問う

一般質問は14人の議員により4日間にわたって行われました。PCR検査センターの増設や市営住宅のバリアフリー化、土砂災害の危険箇所とその対策など広範な市政課題について質問がありました。



長岡 利明
(盛友会)

このほかの質問

- ・避難所の運営マニュアル進捗状況
- ・いわておげんき見守りシステム事業

シルバーメイトと民生児童委員

問 シルバーメイト事業を拡大することで、成り手が不足する民生児童委員の業務負担が軽減されると考えるが、見解は。

答 民生児童委員とメイト、地区福祉推進会など地域全体の連携が負担軽減につながるため、実際の事業活動などの周知を検討する。

都市計画道路「西仙北北川線」

問 西仙北から本宮、向中野を通る西仙北北川線の未整備区間は、都市計画道路整備プログラムに記載されていない。今後の整備見通しは。

答 沿線の土地利用が進み交通需要が高まっていることから、5年後に予定する計画の検証に合わせ、プログラムへの位置付けを検討する。



太田 隆司
(公明党)

このほかの質問

- ・市史編さん
- ・未利用財産の有効活用
- ・市庁舎駐車場の安全対策

市営住宅のバリアフリー化

問 市営住宅における手すりの未整備住戸の現状と、早急に設置を進めることへの所見は。

答 3年9月1日現在、45.5%が未整備である。市営住宅長寿命化計画の改定の中で設置を検討しているが、当面の対応として、相談の際には低層階などへの住み替えを案内している。

図書館への教科書配置

問 市内の児童生徒が現在学習している内容を市民が知ることができるよう、教科書を図書館に配置すべきだとの意見があるが、現状は。

答 都南図書館に設置されている盛岡教科書センターにおいて、全ての検定済み教科書を配置しており、誰でも閲覧することができる。

◆用語解説

シルバーメイト事業

高齢者のみの世帯が安心して生活できるよう、地域全体で支え合う暮らしを実現するため市社会福祉協議会が実施する事業。見守りを行う地域住民（メイト）が、見守りが必要な高齢者（シルバー）へ声掛けや郵便受けの確認などにより安否確認を行う。

（市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画より）



感染の早期発見で感染拡大防止を



高橋 和夫
(日本共産党市議員)

このほかの質問

- ・市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の課題

年金制度改善に向けた働き掛け

問 支給額引き上げや毎月支給など年金制度の改善について、市長会などの団体と共同し、国に働き掛けるべきだと考えるが、所見は。

答 全国市長会において、持続可能で安心できる年金制度の構築を国に求めており、引き続き全国市長会を通じて国へ強く要望していく。

買い物に行けない高齢者への支援

問 買い物に行くことができない高齢者世帯に対する、配食サービスなどの支援状況は。

答 配食サービスの実施に加え、要介護認定者には必要なサービスをホームヘルパーが提供しているほか、地域包括支援センターでは個別の事案に応じたサービス情報を提供している。



鈴木 努
(日本共産党市議員)

このほかの質問

- ・緊急事態宣言解除を見据えたつなぎ温泉地域の振興
- ・南公園スケートボードパーク改修

学習機会保証のための環境整備

問 新型コロナの感染不安で登校できない児童生徒がオンライン授業を受けられる環境整備を進め、希望する家庭には先行実施すべきでは。

答 今後、家庭でのタブレット端末運用に向けた整備を進める必要がある。希望家庭の先行実施は、環境整備が必要であり困難と考える。

PCR検査センターの増設

問 プラザおでつて内にPCR検査センターの設置を決めたが、多くの市民が気軽に検査を受けられるよう、センターの増設を検討しては。

答 設置する検査センターは、3年12月末までの開設を想定している。増設については、今回の実施状況を検証の上、検討する。



鈴木 一夫
(市政クラブ)

このほかの質問

- ・中心市街地以外での内水ハザードマップ作成
- ・アートとまちづくりの合体

未利用財産の一元管理部署新設

問 市の未利用財産の利活用と稼働率向上を図るため、一元管理する部署を新設すべきでは。

答 状況整理と事務効率化が期待できるが、新たな財産活用では目的に応じた専門性が求められ、複数部署での連携がより実効性が高い。今後、連携方法をまとめた手順書を整備する。

教職員と児童生徒のワクチン接種

問 コロナ禍により教育現場の負担が続いている。教職員や児童生徒のワクチン接種状況は。

答 幼稚園教職員の50%、小中学校教職員の61%が2回接種を終えており、今後も接種を進める。生徒の学校集団接種は予定していないが、市の集団接種では児童生徒も対象としている。



工藤 健一
(盛友会)

このほかの質問

- ・地球温暖化対策の主な取り組み
- ・不織布マスクの着用と正しいマスク着用方法の周知

個人所有地の調査・監視

問 3年7月に静岡県熱海市で発生した土砂災害は盛土の崩壊が原因とみられる。個人が所有地を調査、監視することは困難だが、所見は。

答 大規模盛土造成地は個人の対応が難しく、災害時の影響が大きい。危険性が指摘された場合、市の監視や対策を検討する必要がある。

住宅団地再生事業の地域への期待

問 松園地区の住宅団地再生事業に対して、地域に望むことと期待する活動は。

答 収集・蓄積された住民意見などを踏まえた将来像に向け、さまざまな地域再生のアイデアや取り組みが立案され、具体的取り組みが実際にスタートすることを期待している。



大石 仁雄
(盛友会)

このほかの質問

- ・障がい者の生活力向上への支援
- ・資源・ごみ分別アプリダウンロードの状況

民間資金を活用した盛岡城再建

問 盛岡城再建の機運醸成と公民一体となって取り組む仕組みづくりのために、ガバメントクラウドファンディングを活用しては。

答 事業費確保の有効な手段だと認識している。現時点では整備の見通しが明確ではないため、見通しがついた場合には導入を検討する。

ごみ収集の抜本的見直し

問 ごみ収集の在り方について、将来を見据えて抜本的に見直すべきだと考えるが、見解は。

答 ごみ収集はおおむね良好に運用されており、直ちに改善が必要な状況ではないが、環境負荷の低減などの技術の動向を注視し、将来のごみ収集の在り方を調査研究していく。



後藤 百合子
(盛友会)

このほかの質問
・ワクチン接種の
予約
・活動センターな
どへのエアコン設
置

有事における連携システムの構築

問 有事に当たり、関係部署などが連携できるシステムの構築が必要だと考えるが、所見は。

答 危機管理指針でそれぞれの役割を定め、定期的な連絡会議で初動対応の確認などの情報共有を図り、全庁的な危機管理体制を整えている。警察とは常に連携・協力関係を築いている。

公民連携に特化した組織の新設

問 公民連携事業を進めるために、公民連携に特化した組織を新設すべきでは。

答 公民連携に特化した組織の必要性は高く、3年度に「まちなか未来創生室」を設置し、中心市街地の公民連携事業などに取り組んでいる。今後もさらなる組織体制の強化を検討する。



三田村 亜美子
(日本共産党市議団)

このほかの質問
・不登校児童生徒
の実態と支援
・フリースクール
・いじめ問題への
対応

合理性のない校則の見直し

問 合理性のない校則について、憲法や子どもの権利条約に照らした見解は。また、当事者に自主的・主体的な検討を促すことが必要では。

答 児童生徒の基本的な人権に十分配慮することが肝要であり、見直す際は、児童生徒や保護者の意見を尊重した対応が必要だと考える。

香害対策の推進

問 柔軟剤などの香りの刺激により、頭痛などの症状が出る化学物質過敏症患者を新たに生み出さないよう、取り組みを推進すべきでは。

答 国や県、業界団体などの動向を見極めながら、香りの刺激で困っている人がいることについての理解が広がるよう、周知啓発に努める。



池野 直友
(公明党)

このほかの質問
・危険なブロック
塀への取り組み
・夏休み中の事故
・モリオ☆エール
事業の実施状況

土砂災害の危険箇所と対策

問 他都市では豪雨や長雨により土砂災害が発生しているが、本市の危険箇所とその対策は。

答 市内576カ所が危険箇所として公表されている。該当箇所に居住する市民に対して説明会やハザードマップにより危険性を伝え、命を守る行動をとるよう周知している。

もりおかエール便の実施状況

問 県外で暮らす学生に市の名産品を届けるもりおかエール便は、保護者と学生の両方に好評で3年度も実施されたが、申し込み状況は。

答 3年6月7日から募集を開始し、7月17日に受付を終了した。2回目ということで反応が早く、2年度より早く受付終了となった。

◆用語解説

化学物質過敏症

何らかの化学物質に大量にさらされるか、微量でも繰り返しさらされた結果、さまざまな症状が現れる疾患。重症者は多種多様な微量化学物質に反応する。化学物質への感受性は個人差があり、同じ環境でも発症する人とならない人がある。

(認定NPO法人化学物質過敏症支援センターホームページより)



庄子 春治
(日本共産党市議団)

このほかの質問
・鶴ヶ池の水質悪
化の原因と取水施
設改修
・溶融炉導入とご
み減量

ごみ処理広域一部事務組合の議会

問 構成市町各2人、計16人の議員定数案では、人口比なども考慮されておらず、十分に監視機能を果たせない。見直しが必要では。

答 構成市町から一律の人数を選出する例が多く、新組合と同じ市町からなる盛岡広域消防組合も同様であり、機能は果たせると考える。

通学路の安全確保

問 3年6月の千葉県八街市の通学路における死傷事故を受けた、安全確保の取り組みは。

答 各学校に登下校時の安全指導をより一層徹底するよう通知したほか、対策必要箇所として各学校から報告があった24カ所の合同点検を実施し、結果を踏まえ具体的な対策を検討する。



豊村 徹也
(創盛会)

このほかの質問
・営業自粛に応じ
た事業者への補償
・マスク着用と児
童の顔の認識能力

下水道施設の排水能力と降雨量

問 短時間強雨の発生件数が増加しているが、市の下水道施設の排水能力と降雨量の関係は。

答 下水道施設計画・設計指針に基づき、1時間当たり37mmの降雨を排水できる計画としている。3年度の公共下水道全体計画の変更において、近年の降雨状況を踏まえた検証を行う。

地区活動センターの熱中症対策

問 各地域の地区活動センターは指定避難所とされていることが多い。熱中症対策として、大規模改修前でもエアコンを設置すべきでは。

答 大規模改修を予定している施設は工事に併せ整備し、当面予定していない施設は使用頻度の高い部屋などに設置できるよう研究する。



神部 伸也
(日本共産党市議団)

このほかの質問
・食料自給率低下
・コミュニティ・
スクールの導入
・リフォーム支援
事業の継続実施

米価下落対策と米の消費拡大策

問 米価が下落しているが、生産農家への独自支援策や米の消費拡大に取り組んでは。

答 出荷経費の助成による農家支援を検討している。消費拡大のため、学生への米や農産物の無償提供などの取り組みを各方面へ働きかけるほか、市立病院での地元産米使用を検討する。

内水による浸水への対策

問 住宅密集地などの浸水想定箇所を総点検し、改修計画作成などの取り組みを進めては。

答 過去の被害状況を基に排水施設を点検するとともに、公共下水道事業計画により整備を行っている。今後も計画を見直ししながら整備を進め、改修が必要な箇所は個別に対応する。



伊達 康子
(公明党)

このほかの質問
・学校でのコロナ
に関する検査内容
・PCR検査セン
ターの概要
・ワクチン接種

医療的ケア児介護者のコロナ感染

問 医療的ケア児の介護者が新型コロナに感染した場合、受入先の確保などの対応は。

答 介護者不在で在宅生活が困難な場合は、県に調整を依頼して医療型短期入所先を確保する。また、在宅可能なホームヘルパーの利用などを市が調整することも想定している。

医療的ケア児のワクチン優先接種

問 重症化リスクが高い医療的ケア児をコロナ感染から守るため、医療的ケア児とその家族をワクチンの優先接種対象者とすべきでは。

答 医療的ケア児には基礎疾患があり既に優先接種対象だが、介護する家族も優先接種できるように、対象者の把握などに取り組んでいる。

会派の意見

本会議において、各会派が市長提出議案に対して意見を述べる討論が行われました。各会派の討論の要旨をお知らせします。

盛 友 会

全議案に賛成

議案第84号は、盛岡城の一日も早い復元に向け、さらなる資料収集に努めるとともに、文化庁と着地点について協議されたい。議案第101号は、もりおか企業ワイドサポート給付金事業について、議決後速やかに申請や給付の手続きに進めるよう、スピード感を持って対応されたい。認定第15号は、病院事業会計決算の5億7500万円を超す純利益は、国からの新型コロナウイルス感染症対策などに係る補助金11億3000万円余りがあるものであり、今後とも経営改善に努め、未処理欠損金の減額を目指されたい。

市 政 ク ラ ブ

全議案に賛成

議案第84号は、史跡盛岡城址歴史的建造物復元整備資料調査事業について、今後必要な資料が発見されず復元的整備の手法を検討する際には、市民に意見を求めて事業継続の可否を含めた判断をするよう強く望む。認定第1号は、新型コロナウイルス感染症対策のため、歳入歳出とも元年度比32%以上の増となっている。新型コロナの影響は今後も続くと考えられるため、市民生活や事業経営が窮地に陥らないよう、市税収入や未利用財産の活用とその専門部署の立ち上げにより財源の確保に努め、市民や事業主への支援の充実に積極的に取り組むよう求める。

日本共産党市議団

一部の議案に反対

認定第1・6・7号は、次の立場から反対する。県央ブロックごみ・し尿処理広域化は、説明会が開催されず住民理解が得られていない上、住民監視機能も弱まりごみ減量・資源化に逆行することから見直しを求める。市立保育園の全園民営化を見直し、地域ごとに1カ所ずつ公立保育園を残すべきである。介護保険の補足給付の見直しにより、利用料が増大しており、老人福祉法に逆行するもので反対する。高齢者医療制度は年齢で区別する制度であることに加え、低所得者への保険料率軽減策の縮小や、保険料滞納者への短期保険証の発行が問題であり反対する。

提出議案と議決結果

提出された議案の議決結果は次のとおりです。

★議案名は簡略化して表記しています。

議案番号	件 名	議決結果
第84号	令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員）
第85号	令和3年度盛岡市病院事業会計補正予算（第1号）	〃
第86号	盛岡市手数料条例及び盛岡市個人情報保護条例の一部改正	〃
第87号	民事調停の申立て及び調停不成立等の場合における訴えの提起	〃
第88号	損害賠償事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めること	〃
第89号	財産の取得（消防ポンプ自動車の購入）	〃
第90号	財産の処分（向中野七丁目地内宅地の売払い）	〃
第91号	盛岡南公園球技場大規模改修（建築主体）工事に係る請負契約の締結	〃
第92号	議決の変更（盛岡市立仁王小学校校舎大規模改修（建築主体）工事に係る請負契約の一部変更）	〃
第93号	議決の変更（盛岡市立大新小学校校舎大規模改修（建築主体）工事に係る請負契約の一部変更）	〃
第94号	市道の路線の認定及び変更	〃
第95号	令和2年度盛岡市水道事業未処分利益剰余金の処分	〃
第96号	令和2年度盛岡市下水道事業未処分利益剰余金の処分	〃
第97号	盛岡地区衛生処理組合規約の一部変更	〃
第98号	盛岡市固定資産評価審査委員会の委員の選任（梅村俊男）	同意（全員）
第99号	盛岡市公平委員会の委員の選任（太田秀米）	〃
第100号	人権擁護委員候補者の推薦（村井三郎、千葉史夫、吉田妙子、熊谷セツ子、澤村憲照、富谷行雄、浅沼よし子、魚住英昭、田中益子、細野えつ）	〃
第101号	令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第6号）	可決（全員）
認 定		
第1号	令和2年度盛岡市一般会計歳入歳出決算	認定（多数）
第2号	令和2年度盛岡市公設浄化槽事業費特別会計歳入歳出決算	認定（全員）
第3号	令和2年度盛岡市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算	〃
第4号	令和2年度盛岡市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計歳入歳出決算	〃

議案番号	件 名	議決結果
第5号	令和2年度盛岡市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算	認定（全員）
第6号	令和2年度盛岡市介護保険費特別会計歳入歳出決算	認定（多数）
第7号	令和2年度盛岡市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算	〃
第8号	令和2年度盛岡市中央卸売市場費特別会計歳入歳出決算	認定（全員）
第9号	令和2年度盛岡市新産業等用地整備事業費特別会計歳入歳出決算	〃
第10号	令和2年度盛岡市土地取得事業費特別会計歳入歳出決算	〃
第11号	令和2年度盛岡市東中野財産区特別会計歳入歳出決算	〃
第12号	令和2年度盛岡市東中野、東安庭、門財産区特別会計歳入歳出決算	〃
第13号	令和2年度盛岡市水道事業会計決算	〃
第14号	令和2年度盛岡市下水道事業会計決算	〃
第15号	令和2年度盛岡市病院事業会計決算	〃
発議案		
第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決（全員）
第3号	教職員定数の改善及び義務教育費の国庫負担拡充を求める意見書	〃
第4号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた国会審議の推進を求める意見書	可決（多数）
第5号	中心市街地整備特別委員会の設置	可決（全員）
第6号	持続可能な地域づくり特別委員会の設置	〃
第7号	防災まちづくり特別委員会の設置	〃
第8号	新型コロナ等対策特別委員会の設置	〃
請 願		
第3号	政府と関係各省庁に対してT P P等のすべての自由貿易協定に関する要請を求める請願	不採択
第4号	政府と憲法審査会に対し改正国民投票法に関する要請を求める請願	〃
第5号	コロナ禍収束に向けた盛岡市独自の対策に関する請願	〃

創 盛 会

全議案に賛成

議案第84号は、PCR検査事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業など、民生費、衛生費、教育費の大半が新型コロナ対策に充てられている。また、異常気象による農作物被害への支援を目的とした農林費、通行支障箇所を修繕するための土木費とも、コロナ禍や市の喫緊の課題に対応した予算であり、必要かつ妥当だと認められる。他都市と比較して遅れが指摘されたワクチン接種事業では、これまでの手法を総括し、今後の接種事業に生かされたい。議案第91号は、改修に当たり、新野球場建設を見据えた一体感と魅力のある球技施設となるよう配慮されたい。

公 明 党

全議案に賛成

議案第84号は、新型コロナワクチン接種について、接種対象を12歳以上59歳以下に拡大することに伴い、大規模会場での集団接種を実施する費用が盛り込まれた。当初予定していた土日2日間で3150人の定員枠を、360人増の3510人へと拡大した点を評価する。今後、予約方法についても、市民がストレスを感じることなく接種に結びつくよう工夫されたい。

認定第1号は、経常収支比率が元年度から0.3ポイント減少し96.0%となったものの、90%を超える高い値が続いていることから、財政構造が弾力性を失わないよう改善に努められたい。

賛否が分かれた議案など

[illegible]

※1 議案等の賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」と表記しています。議長は表決に加わらないため「/」としています。

※2 会派等名の「共産党市議団」は、「日本共産党盛岡市議団」。「無」は、「無所属」

議会活動レポート

農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会が調査を実施

7月7日に勉強会を開催しました。(株)浄法寺漆産業代表取締役社長の松沢卓生氏を講師に迎え、「漆の振興について」を演題に講演いただきました。漆かき職人は労働量に対して所得が少ない上、国産漆の需要の急激な高まりにより職人の成り手が不足している現状や、全国的に漆の植栽の動きが広がっている中で、県が国内生産量1位の漆産地であることをさらにPRする必要性と、漆の振興のために必要な取り組みとして、安定供給、獣害対策、生産性向上、産地や生産に関わる人の増加が挙げられることなどについて、理解を深めました。



職人確保と生産性向上で県産漆の振興を